

スーパーバイザーは工事の実行前に設計図書と使用材料の理解と現場状況の掌握を自分の体で必ず行うこと。

理解と掌握をするためには、最低限度の取り決めと知識が必要となります。

この節では図面の記載**取り決め**と**材料**を理解するための知識と現場環境掌握調査について記述します。

## 1 図面作図の取り決め

作図にあたっては工事原価意識を持って線を引くことは当たり前と言いながら、日本流ツーバイフォー工法は無意識かつ過剰に描かれている点があります。フレーマーも無意識で施工をしています。特に、壁製作のフレーム平面詳細図（軸割図）は壁展開方向は、作図者によって異なります。

今までの流れから言えば**取り決め**の必要はなかったのかもしれませんが、しかし、工事・図面・コンピューターソフトの作成にあたっては、たいへん重要なものとなります。ツーバイフォー工法での取り決めは、フレーム工事だけではなく基礎工事にも影響し、全体の生産性を向上させ、コスト削減に寄与します。

### 1) 在来工法の壁展開図

[図 V-1-1]

